

将来展望を実現するために克服すべき課題

製造業以外の雇用の場が不足

若者や女性が希望する第三次産業の就業機会が少ない。

住宅の需要と供給のミスマッチ

特に貸家や分譲の物件が不足。稲沢市で働く人が一宮市や愛西市に流出。名古屋10分圏の強みを生かし切れていない。

低い出生率

晩婚化や生涯未婚率の問題は少ないに関わらず、合計特殊出生率は県内でも低い水準にある。

人口減少や少子高齢化の進展の地域間格差

既に長期にわたる人口減少・少子高齢化が進んだ地域が存在している。

基本目標 ※数値目標を設定

国の政策分野①
地方における安定した雇用を創出する

市内の雇用を拡大する

既存産業の高度化や事業継承を進めながら、女性や若者の希望に見合った新たな産業を創出・育成する。

国の政策分野②
地方への新しいひとの流れをつくる

市のポテンシャルを生かした定住を推進する

名古屋のベッドタウン、ものづくり産業の集積地としてのポテンシャルを生かし、居住地として選択される都市になる。

国の政策分野③
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

第2子が生まれる都市になる

結婚や出産、子育てにおいて想定される不安を取り除くことにより、子どもの出生数を増やす。

国の政策分野④
時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

人口減少に対応可能な地域を形成する

人口や財政規模が縮小しても、現在の地域コミュニティを維持できる地域自治や行政サービスの仕組みをつくる。

施策の基本的方向 ※KPIを設定

- 市内企業の経営基盤を強化する
- リニア中央新幹線の開通を見越して新たな企業誘致を進める
- 新産業創出を含め、第三次産業を育成する
- 女性の雇用機会を拡大する
- 就職・結婚時において居住地として選択される都市になる
- 持ち家取得時における市外への流出を防ぐ
- 都心からの転入者の居住の受け皿となる
- 利便性が高く暮らしやすいイメージを定着させる
- 男女の出会いの場・機会を創る
- 子育てを手厚く支援する
- 地域で子どもを育てる
- 仕事と家庭の両立が実現可能な労働環境を創出する
- 駅周辺の高度利用を進める
- 地区単位のまとまりある生活圏域を形成する
- 地域自治の仕組みを再構築する
- 持続可能な行政サービスへ転換する

目標

若者や女性の希望に応え、新しい活動が生まれるまちを形成する

将来展望

2060年に〇万人程度の人口を確保する